

福岡県飯塚市に 世界初のブロックチェーン神社建立

ブロックチェーン技術の平和利用と人々の幸せを祈願し、ブロックチェーンを利用したシステムやサービス、それらを利用するユーザー、また開発する技術者たちを見守っていただくため、知恵を司る八意思兼神（ヤゴコロオモイカネ）を埼玉県秩父市の秩父神社より御分霊いただき、建立式典は福岡県飯塚市の多田妙見神社（日若神社）の有光禰宜宮司に行って頂きました。

八意思兼神は日本神話に出てくる天の岩戸・国譲り・天孫降臨と言った重大な局面で知恵を絞り、解決してゆく重要な神様でもあり情報技術の神様でもあります。

また、八意思兼神のもう一つの表記「思金神」という名前から大工の道具の曲尺（カネジャク）とつながり、建築技術と匠のご利益・御神徳もあるといわれます。現代でも伝統的な建築現場の仕事始めの日に行われる手斧初（ちょうなはじめ）という儀式では、この八意思兼神を祀ります。

ブロックチェーンストリート構想では、古民家を伝統職人たちの技術と智慧で甦らし、ブロックチェーン技術者の育成を行うため、知恵と情報技術、また建築や匠の神様である八意思兼神を御鎮座いただきました。ブロックチェーンストリート構想の育成理念は「暮らしフルネス」という思想を中心として進めます。神社という「場」を「宗教」としてではなく、初詣や七五三、お祭りなど、私たちの「暮らし」の一つとして活用していきます。これから毎年の例大祭を行い、ブロックチェーン技術者たちが安心して開発できるBC技術の聖地に飯塚市になるよう祈願しお祀りして参ります。

また、建立式典と併せて、飯塚市との連携のもと、株式会社Caguya、株式会社ハウインターナショナル、株式会社chaintopeと共に飯塚ブロックチェーンストリート構想を推進する「一般財団法人 徳積財団」の設立も発表いたしました。

飯塚市にある九州工業大学、近畿大学、近畿大学九州短期大学とも連携し、産学官民一体で引き続きブロックチェーンストリート構想を進めて参ります。

場

Blockchain Awakening



■「ブロックチェーンストリート構想」とは

ブロックチェーンと再生した古民家群を活用し、飯塚市を世界的な“ブロックチェーンの聖地”とすることで地方創生と“身体も心も健康で本来のポテンシャルを発揮できる”働き方及び生き方を拓める社会課題解決の取り組みです。

旧伊藤伝右衛門邸前の長崎街道沿い（飯塚市幸袋）の古民家群と“場の道場”[BA]（Blockchain Awakening）を中心に、飯塚市に国内外のブロックチェーンに関心のある人々や企業が集い連携しながら、「暮らしフルネス」によって心身ともに充実した働き方及び生き方を学ぶ環境を提供しています。



旧伊藤伝右衛門邸前 「聴福庵」

■暮らしフルネスとは

子縁社会の実現は「教育」の分野、日本の伝統文化や自然を生かした持続可能な徳循環伝承は「農」の分野、生き方を磨く場道（BADO）の展開は古民家・聴福庵を通した「暮らし」の分野、新しい社会づくりの価値観は「ブロックチェーン」の分野。

それらの分野を総称して「暮らしフルネス」と呼び、子どもたちに遺したい「懐かしい未来」を磨きます。



■「一般財団法人 徳積財団」とは

日本を徳の循環で継続的に、子孫が文化・教育・経済・健康（食農医）の分野で豊かで幸せに暮らしていける国にし、また、日本を徳高い国にすることによって世界の規範となることを目的として設立された財団です。

飯塚市では、株式会社Caguya、株式会社ハウインターナショナル、株式会社chaintopeと連携して、ブロックチェーンストリート構想を推進して参ります。



株式会社 カグヤ Tel.03-5909-7155 Fax.03-5909-7199
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビルディング2号館10階
Web <http://www.caguya.co.jp> E-mail info@caguya.co.jp
担当／野見山・眞田